

目 次

はじめに（松田修一）	1
第一章 コーポレートイノベーション（高収益モデルへの転換）	3
（松田修一・西山茂）	
1．1980年代までのモノづくり産業の収益モデル	
2．国際会計基準の導入が企業の実態を明らかにする	
3．既存企業のポジショニング	
4．コーポレートイノベーション	
5．高収益モデルへのイノベーション事例	
第二章 トップマネジメントのイノベーション（寺本義也）	46
1．仕組み改革	
2．プロセス改革	
3．意識改革	
4．人材改革	
第三章 事業構造のイノベーション（山田英夫）	75
1．バリューチェーンが解体されつつある大企業	
2．バリューチェーン解体のトリガー	
3．アンバンドリング時代の競争戦略	
4．事業構造のイノベーション	
第四章 プロダクトイノベーションの課題と対応（山本尚利）	98
1．グローバル経済時代のMOT（技術経営）とは	
2．20世紀末の日本企業のMOT評価	
3．21世紀日本企業のMOT課題	
4．豊かな発想のできるMOT人材の育成が日本企業再生の鍵	
5．知創社会におけるプロダクトイノベーション	
6．プロダクトイノベーションの業務プロセス革命	
7．プロダクトイノベーションにおける日本企業の問題	
8．プロダクトイノベーションの基本プロセス	
9．プロダクトイノベーションのための事業環境分析	
10．日本市場のマクロ環境分析事例	

11. インターネット社会のネガティブ・インパクト要因分析
12. ドミナント（未来市場支配因子）の抽出プロセス
13. デタミナント（未来市場決定因子）の把握
14. プロダクトイノベーションのための技術課題抽出
15. 未来製品コンセプト発想
16. プロダクトイノベーションのためのビジネスモデル
17. 未来製品の市場予測法
18. シリコンバレーのプロダクトイノベーションとは
19. 日本企業のプロダクトイノベーション革命への提言

第五章 プロセスイノベーションの課題と対応（高橋輝男・椎野潤）…… 129

1. 大規模化した生産システムからの問題提起
2. 小規模・分散型生産システム
3. 小規模・自律・分散・協調生産システム
4. 自律・協調型作業の開発
5. プロセスイノベーションのケースとしてのサプライチェーン
マネジメント

第六章 カスタマー関係イノベーション（大江建）…………… 173

1. 情報時代の3つの特性
2. 「TCM運動」の導入
3. 不確実性の戦略化
4. 戦略的スピンオフの実行
5. 起業家型リーダーの育成

第七章 モノづくり企業のイノベーションモデル提示（黒須誠治）…………… 210

1. 天才でない人達からなる集団をイノベティブにすること
2. 機能という考え方で発想する方法の概要
3. システムとは
4. イノベーションを誘発する機能（目的）展開
5. システム設計
6. システム設計例
7. ビジネスモデルの作り方
8. 機能中心の考え方がなぜイノベーションになるのか

第八章	ヒト(技術系経営幹部)づくりのイノベーション(中根甚一郎).....	243
1.	ヒト(技術系経営幹部)づくりの前提条件	
2.	実現するための要件	
3.	21世紀モノづくり業のリーダー/イノベーターの教育、育成	
4.	教育プログラムの骨子(MOT)	
第九章	起業意識の変革と大規模知的クラスターづくり.....	264
	(松田修一・田村泰一)	
1.	一国のみ沈む日本の経済成長	
2.	GEMにおける起業と経済成長の関係	
3.	日本人の起業や起業家に対する意識の変化	
4.	日本における挑戦する風土の強化	
5.	起業意識を変える産業界・大学・地域一体型知的クラスター	
6.	さらなる大改革の必要性	
	おわりに(松田修一).....	300
	調査事業分担者略歴.....	305